

エネルギー持続性フォーラム 第3回 公開シンポジウム

エネルギー持続性への挑戦

「低炭素社会に向けた産業界の役割」

新しい価値を創造し、世界に貢献。



日時 2009
2.26 THU
 13:00~18:00

場所 **丸ビルホール**
 東京都千代田区丸の内2-4-1
 丸ビル7階

主催：東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)
 共催：昭和シェル石油株式会社
 協力：三菱地所株式会社

お問い合わせ フォーラム事務局 (株) アストクリエイティブ内)
 TEL: 03-3405-1191 (土日・祝・祭日を除く 10:00~17:00)
 E-mail: ir3s@ast-creative.co.jp

エネルギー持続性への挑戦 ～ 低炭素社会に向けた産業界の役割 ～

世界的に金融危機が深刻化し、景気後退に直面するなかにおいても、IPCC 第4次報告書で示された地球温暖化の影響の深刻さやその対策に要する時間を考慮すれば、長期的な視点から、地球温暖化対策に優先的に取り組む必要があります。今、直面している「歴史的危機」を、まさに「歴史的危機」と受け止め、低炭素社会へ向けた対応が、需要や雇用を生み、経済成長を支え、金融危機から脱出するための鍵となるべく、産官学が有機的に連携して将来への道筋を示し、推し進めていくことが、持続可能な社会の実現の観点から必要です。

今や、あらゆる主体があらゆる面において、地球温暖化問題の解決、経済成長、資源・エネルギーの構造転換、の同時達成を目指して、取り組まなくてはなりません。

本シンポジウムでは、「低炭素社会に向けたエネルギー持続性」をテーマに、目指すべき低炭素社会において日本の産業界がグローバルで競争力を持ち、さらに持続的発展へ貢献していくための条件/戦略/道筋について提言を行うことを目標に、産官学の各方面からのビジョンとアプローチについての講演とそれらに基づいたパネルディスカッションを行います。

■開会挨拶	13:00～13:05	武内 和彦
	13:05～13:10	福澤 武
■基調講演	13:10～13:50	小宮山 宏「新パラダイム産業で世界をリード」
■講演	13:50～14:30	竹本 和彦「低炭素社会構築に向けた取組の方向性」
	14:30～15:10	山地 憲治「エネルギー持続性のための低炭素電力供給システム」
	15:10～15:50	平尾 雅彦「資源循環による低炭素社会構築」
■休憩	15:50～16:05	
■パネルディスカッション	16:05～17:55	「低炭素社会における持続的発展への産業界の役割と貢献」 モデレーター：花木 啓祐 パネリスト：香藤 繁常／鈴木 基之／関澤 秀哲／榎本 晃章／山地 憲治 (50音順)
■閉会挨拶	17:55～18:00	新井 純



小宮山 宏
Komiyama Hiroshi
東京大学総長
サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)
機構長



竹本 和彦
Takemoto Kazuhiko
環境省 地球環境審議官



山地 憲治
Yamaji Kenji
東京大学大学院
工学系研究科
電気系工学専攻 教授



平尾 雅彦
Hirao Masahiko
東京大学大学院
工学系研究科
化学システム工学専攻 教授



花木 啓祐
Hanaki Keisuke
東京大学大学院
工学系研究科
都市工学専攻 教授
サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)
兼任教授



鈴木 基之
Suzuki Motoyuki
放送大学 教授
中央環境審議会会長



関澤 秀哲
Sekizawa Hideaki
新日本製鐵株式会社
代表取締役副社長



榎本 晃章
Masumoto Teruaki
東京電力株式会社 顧問



香藤 繁常
Kato Shigeo
昭和シェル石油株式会社
代表取締役副会長



福澤 武
Fukuzawa Takeshi
三菱地所株式会社 相談役



武内 和彦
Takeuchi Kazuhiko
東京大学大学院
農学生命科学研究科
生圏システム工学専攻 教授
サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)
副機構長



新井 純
Arai Jun
昭和シェル石油株式会社
代表取締役社長